

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】 洗腸法に関連した看護介入の経験を振り返る

【目的】

逆行性洗腸法とは、強制的に排便を管理する方法であり、2017年に出された便失禁診療ガイドラインでは推奨度B、慢性便秘症診療ガイドラインではエビデンスレベルCとされている治療法でもである。また、ストーマに対して行う洗腸は、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会では“灌注排便法”と言われ、20年以上前にストーマ造設された患者ではこの方法で排便管理している方も多い。

時間と手間のかかる洗腸法は、適応者が少なく看護実践の場面で介入の機会は限られるが、患者によっては生活の質を大きく改善できることもある。

当施設において“洗腸法”に関連した介入を行った事例を振り返り、その有効性を検討した。

【対象】

2012年1月から2018年6月において、“洗腸”をキーワードに看護介入した患者

【方法】

診療録をふりかえり、調査項目についてエクセルシートに転記し、単純統計した

【個人情報の取り扱い】

個人が特定されないように配慮した

【利用する試料・情報】

診療録

【研究期間】

2018年8月～9月

【研究実施機関】

辻仲病院 柏の葉

【連絡先】

千葉県柏市若柴178併抵2 柏の葉キャンパス148街区

T EL : 04-7137-3737

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じるこ

とはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。